

総会宣言

建交労全国青年部第二四回定期総会は、『集え青年！みんなで語ろう、未来を作ろう！若者の要求実現へ』憲法が輝くあたたかい社会を掴み取れ Let's take ACTION！いけいけ全国青年部！』をスローガンに、二〇二二年度の方針と体制を確立しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大は依然として収束せず、青年の生活の厳しさは年々深刻さを増しています。岸田政権は、参院選で多数を得たものの、さまざまな分野で深刻な矛盾と危機に直面しています。国民の六割の反対の声を無視した「国葬」の強行、統一協会と自民党との癒着の底なしの広がり、物価高騰に対する無為無策と逆行、暮らしも平和も押しつぶす大軍拡の暴走などに対して、国民の怒りと不信が広がっています。

青年が運動を進める上でも困難な状況が続く中、建交労全国青年部は創意工夫しとりくみを前進させてきました。

建交労フェスティバル京都では青年セミナーを開催し、「大人の修学旅行」と題して四三人の仲間と交流をおこない、大成功をおさめました。

平和と核兵器廃絶を求めた反核キャンペーンでは、各地で街頭宣伝や学習会を行い、広島国民平和大行進・原水爆禁止世界大会、長崎の敬朋墓前祭に参加しました。全国から集まった一万六千羽の折り鶴は、広島と長崎に届けることができました。また、ツイッターを利用して核兵器廃絶の声を全世界に発信し、反核の思いを広げました。

本総会では、核兵器の廃絶と原発のない未来に向けたとりくみが提案されました。NPT再検討会議に伴う行動について、国際行動が開催されれば、全国青年部も成功に向けて二名の代表者を維持することを確認しました。反核トラックキャラバンに取り組み、各地の支援や協力を得て、より前進した運動を目指します。青年との交流を深める為に、様々な機会を活用し、青年が交流を持てる場を積極的に企画していきます。三年ぶりに開催される建交労学校への参加も呼びかけ、建交労の未来を担う青年の学習強化を図ります。

建交労全国青年部は、青年の未来を守り、より良い社会を構築するため、すべての青年労働者・全労連青年部をはじめとする他団体との共同を広げ、憲法改憲を許さない闘い、核兵器廃絶、原発再稼働反対、辺野古新基地建設反対、労働者の声が届く政治への転換を中心に据え、総会スローガンのもと新たな前進を切り拓くために、全力で奮闘します。

右宣言します。

二〇二二年十二月十一日

全日本建設交通一般労働組合全国青年部第二四回定期総会